

ここで見られる植物：コウヤボウキ（“Koya Broom”; *Pertya scandens*）

コウヤボウキは落葉性（季節的に落葉）の小低木で、森林、丘、山やその周囲の日当たりの良い場所で育ちます。瀬戸内海の反対側、和歌山県の高野山にある広大な寺院群を掃くのに坊さんが採用した硬い箒の毛にコウヤボウキが使われたことから、その名がつけました。高さは約50cm から 1m におよび、細いながらに頑丈な枝をもちます。枝に沿って互生するハート形の葉の縁周りには、鋸歯がまばらについています。9 月から 10 月の間には、本年枝の先に直径およそ 1cm の頭花が咲きます。赤みがかった茶色の冠毛が先端部についた小さな種は、風であちこちに撒き散らされます。